「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート（Ａ：裁量有）

記入日　令和　４ 年　４ 月 15 日

事業名称	狭山保育園運営費［狭山保育園運営事業］										
予算科目	款	3	民生費	項	2	児童福祉費	目	3	市立保育園運営費	事業番号	2
事業の種別	□ 市単独　☑ 補助対象　□ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの（市の上乗せあり）										
担当部署・課長名	保育課　課　狭山保育園　係								課長名	岩﨑　かおり	

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	2 － 4
【施策名】 児童福祉の推進	総合計画書（ページ）	59

1 この仕事の目的

❶ 誰（何）を対象にしていますか。		1 ❶の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）
労働形態、通勤事情等に伴い保育を真に必要とし、狭山保育園に入所している児童	➜	保育園在籍園児数 ７０人
❷ ❶をどのような状態にしたいのですか。［簡潔に］		2 ❷の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）
在園児が狭山保育園で生活を送れる。 保護者が狭山保育園に安心して子ども達を預ける。	➜	医療機関受診を伴う事故件数 ７件
❸ そのために何をしましたか。		3 ❸をどのくらい行いましたか（活動指標）
年間を通じて、園児を安全かつ個々の成長に応じた保育を行った。	➜	年間保育日数 ２９３日

2 指標の推移

		単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
			平成３１年度実績	令和２年度実績	令和３年度実績	令和４年度目標	令和５年度目標
対象指標	1 の数値	人	92	85	70		
成果指標	2 の数値	件	4.0	11.0	7.0		
目　標	2 の目標値	件	0	0	0		
	目標値設定の考え方						
	保育中の事故をなくす						
活動指標	3 の数値	日	294	292	293		

3 経費

事業費（実績）	円	55,480,346	66,448,540	69,164,507	
財源 一般財源	円	45,541,554	41,145,186	58,281,591	
財源 特定財源（国・都・他）	円	9,938,792	14,335,100	10,882,916	
財源 特定財源（国・都・他）（うち受益者負担）	円	1,212,500	1,588,400	1,616,260	
人件費（目安） 所要人数(再任用以外)	人	16.0	16.0	16.0	
人件費（目安） 所要人数(再任用)	人	2.0	0.0	0.0	
人件費（目安） 職員人件費(再任用以外)	円	132,960,000	134,080,000	170,163,998	
人件費（目安） 職員人件費(再任用)	円	0	0	0	
事業費＋人件費	円	188,440,346	200,528,540	239,328,505	

※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。
人件費（再任用職員以外）
年間単価は、 8,250,000円
時間単価は、 4,200円
で計算してください。
【算出根拠】令和２年度決算数値
(退職手当組合負担金、共済費も含む。)

4 環境変化等

（１）開始年度　昭和４９ 年度

（２）環境の変化

保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に対処するため、児童福祉の向上を図ることを目的に実施した。

事業名称	狭山保育園運営費［狭山保育園運営事業］		
担当部署・課長名	保育課　　課　　狭山保育園　　係	課長名	岩﨑　かおり

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）
	☐ 取り組んだ　取組手法：
	☑ 取り組まない　【取組手法の種類】 ①共催　②実行委員会・協議会　③事業協力　④事業委託　⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体：　　）⑦後援・場の提供　⑧その他（　　）
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和２年度に実施した仕事」の振返りシート 7課題（3）を転記）
	延長保育等保育の多様化による保育士不足については、保育園の立地及び会計年度任用職員の雇用が困難である。派遣保育士の導入を検討していく。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和３年度に実施したこと。
	会計年度任用職員の保育士の募集を行ったが応募はなく、シルバー派遣等で保育補助を行った。
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）
	延長保育等保育の多様化による保育士不足については、保育園の立地及び会計年度任用職員の雇用が困難である為、派遣の導入を実施していく。
8 施策貢献状況 （この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）	
	施策名： 児童福祉の推進
	☑ なっている　☐ 環境の変化等により成果が減少している　☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある　事業名（　　）
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7　課題（3）」の課題及び「8　施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）
	☐ 拡大　☑ 現状維持　☐ 縮小　☐ 休止　☐ 廃止 【取組内容】 保育体制の充実
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等